



アジレントワークフローサービス： キャピラリフローテクノロジー (CFT) バックフラッシュトレーニング

The Measure of Confidence

トレーニングを受けて、GC および GC/MS データの品質、カラム寿命、サンプルスループットを手早く向上!

すぐに成果の出る CFT バックフラッシュトレーニング

Agilent CFT バックフラッシュトレーニングの受講により、分析時間の短縮、バックフラッシュによるサンプルマトリックスの除去、GC および GC/MS カラム性能を低下させるおそれのあるキャリーオーバーの防止などを可能にするメソッドを設定できるようになります。アジレントのサービスエンジニアがお客様のところでトレーニングを提供します。お客様の既存のメソッドを実例として使用し、お客様のハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションに応じた CFT バックフラッシュの設定方法をデモンストレーションします。

CFT バックフラッシュの設定および最適化に関する実践トレーニング

- バックフラッシュ条件作成のためのユーティリティ (ソフト) の説明
- バックフラッシュウィザードの紹介
- お客様のメソッドにバックフラッシュ条件を設定
- リテンションタイムロッキング用キャリブレーションカーブの更新
- バックフラッシュメソッドの実行および評価

CFT バックフラッシュを導入すれば、すぐに成果が得られます。

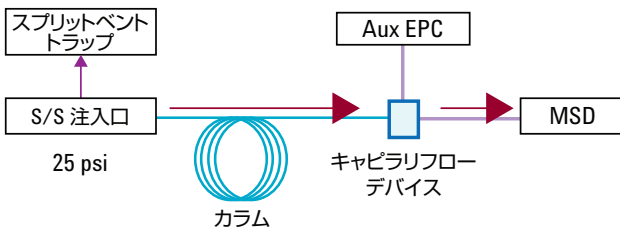
アジレントワークフローサービス：CFT バックフラッシュの詳細については、カスタムコンタクトセンタ (0120-477-111) までお問い合わせください。

CFT バックフラッシュの利点を いますぐ体験してください：

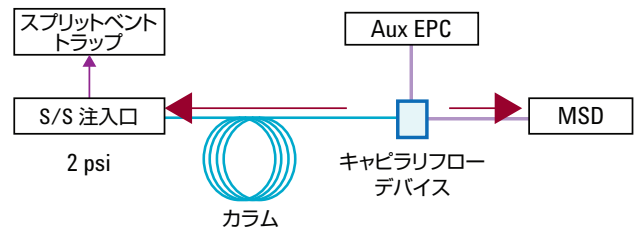
- 生産性の向上と分析サイクルタイムの短縮
- カラムトリミングや検出器メンテナンスの頻度の低減による稼働時間の向上
- カラムブリードの減少による感度とデータ品質の向上
- カラム寿命の延長によるコストの削減

アジレントワークフローサービス：
優れた分析結果への近道

GC 分析



バックフラッシュサイクル



最後の分析対象化合物が溶出した直後に、キャピラリフローバックフラッシュテクノロジーによりカラムフローを逆流させれば、分析の品質を向上させ、時間と費用を節約することができます。このテクニックを使えば、長いベイクアウト時間や高温を用いて保持力の高いサンプル成分を溶出させる必要がなくなります。そうした物質は、カラムフローを逆流してスプリットベントから排出されます。これにより、キャリーオーバー、カラムの破損、リテンションタイムの変動、MSD イオン源の汚染を防止することができます。

*一部のアプリケーションはバックフラッシュの適用が困難な場合があります。

本資料に記載の情報、説明、製品仕様等は
予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2012.
Published in Japan, December 13, 2012
5991-1471JAJP



Agilent Technologies